

“備え”あつての安心ライフ

人気のふるさと納税を利用したことがありますか？
そもそもどんな制度なのか？ 基本のキから勉強しましょう。

いまさら聞けない
「ふるさと納税」

そもそも ふるさと納税とは？

2008年から始まった「ふるさと納税」は、居住地以外の自治体に寄付を行う制度です。名前に「ふるさと」とありますが、出身地などに関係なく全国各地にでも寄付することができます。利用したことがある方も多いのではないのでしょうか。

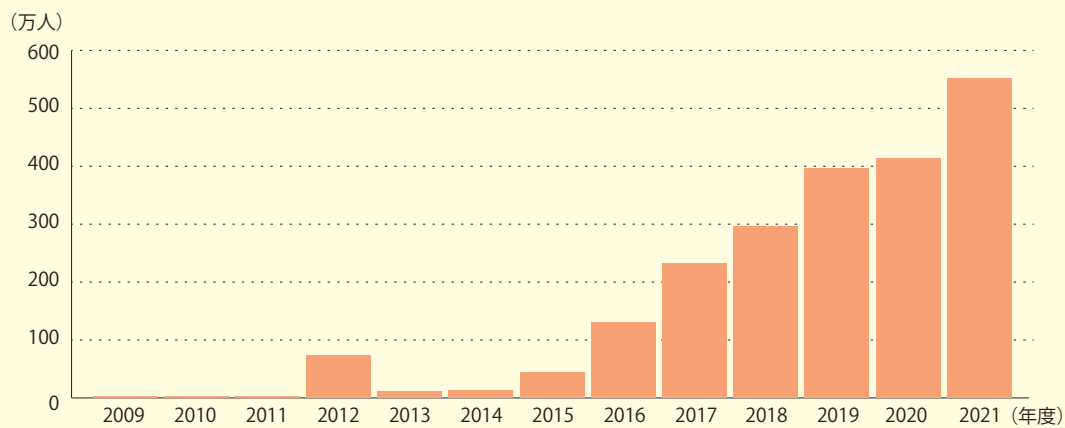
ふるさと納税では、寄付金額のうち2000円を超える額が、住民税や所得税から「控除」として差し引かれるのが特徴です。ふるさと納税を行うときは自分のお金で支払いますが、翌年に納める住民税が安くなったり、その年の所得税が安くなり、払いすぎていたら還付されたりします。

つまり、自己負担金2000円以外は、納税額と相殺されてプラスマイナスゼロになる「税金の先払い」といえるでしょう。

ただし、控除には上限があり、年収や家族構成などによって上限額は異なります。また、住宅ローン控除などの利用や控除額などによっても変わります。

ふるさと納税は自分の控除上限を知って、それを超えないように注意したいものです。控除上限は、さまざまな「ふるさと納税サイト」にシミュレーターがありますので、参考にしてください。

ふるさと納税による控除適用者数の推移（全国計）



出典：2021年7月30日・総務省「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和3年度実施）」

巣ごもり生活で 利用者が増加

ふるさと納税は納税額を減らせるものではありませんが、寄付先の自治体から返礼品がもらえるのが大きなメリットです。返礼品は寄付額の3割相当ですが、税金の一部が現物支給されるようなもので、大きな意味では「節税」といえるのではないのでしょうか。地域色豊かな返礼品がありますから、あれこれ見比べながら選ぶのも楽しいと思います。

上のグラフは、ふるさと納税で住民税の控除を受けた人数をまとめたものです。つまり、その前年にふるさと納税を行った人数が読み取れますので、推移を見ていきましょう。

2016年度のグラフが伸びているのは2015年4月から「ワンストップ特例制度」が始まったためと考えられます。ふるさと納税は税控除を受けるため原則確定申告が必要ですが、会社員などとも確定申告の必要がなく、寄付先が5自治体以内の方は、申請すれば確定申告が不要となる制度です。「めんどくさな確定申告がいらないなら」と、始めた方も多かったです。

また、2020年度のグラフ（2019年の利用者は前年から微増にとどまっていますが、昨年は一転、1.3倍増です。コロナ禍の巣ごもり生活で、利用する方が増えたのだと思います。

できれば11月に総決算を

ふるさと納税の税額控除は、1月～12月までを1年間としてカウントします。今年の控除額は12月までに使い切らないと、翌年には持ち越せません。

ですから、毎年12月には「駆け込み」でふるさと納税を行う方がかなり多く、寄付先の自治体は混乱するようです。できれば11月に今年のふるさと納税を振り返り、控除額が残っているなら早めに手続きをしましょう。

左の表は、昨年度、ふるさと納税を多く受け入れた人気自治体です。寄付先を迷っている方は

参考してみてください。

また、お正月の必需品をふるさと納税で手に入れた方は、急いでください。ネット通販のように翌日配送とはいきません。そのほか、返礼品の選び方はメールマガジンで詳しく解説したいと思います。お楽しみに。

最後に、今年は静岡県熱海市の土石流災害など、自然災害がたくさんありました。こうした被災自治体への支援もふるさと納税で行えます。その際は返礼品を辞退して、寄付の全額を復興対策に充ててもらうこともできます。お金を使わなくても支援の気持ちを送る方法として、利用すると思います。

2020年度におけるふるさと納税 受入額の多い20団体

	団体名		受入額 (億円)	受入件数(件)
1	宮崎県	都城市	135	603,807
2	北海道	紋別市	134	867,064
3	北海道	根室市	125	723,336
4	北海道	白糠町	97	658,624
5	宮崎県	都農町	83	416,028
6	山梨県	富士吉田市	58	232,917
7	山形県	寒河江市	57	266,601
8	兵庫県	洲本市	54	347,339
9	兵庫県	加西市	53	128,444
10	静岡県	焼津市	52	261,365
11	鹿児島県	志布志市	51	217,136
12	鹿児島県	大崎町	50	350,189
13	新潟県	燕市	49	158,175
14	岐阜県	関市	49	187,886
15	佐賀県	上峰町	44	244,735
16	佐賀県	唐津市	44	283,626
17	福岡県	飯塚市	44	376,968
18	鹿児島県	南さつま市	43	240,247
19	和歌山県	有田市	41	327,754
20	北海道	弟子屈町	40	225,066

出典：2021年7月30日・総務省「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和3年度実施）」

年末家計のたな卸し

まずはふるさと納税から

マネー
格 書



森本 光由希 もりもと みゆき

生活経済ジャーナリスト、ファイナンシャルプランナー。暮らしに役立つ金融・経済の情報をメインテーマとして、幅広い分野で取材執筆活動を行っている。生活に根差したお金の問題を「生活者と同じ目線・経済感覚」でわかりやすく、使える情報として発信することがモットー。

メールマガジン会員募集中！

保険に関する身近な情報をはじめ、提携施設の期間限定キャンペーンなど、お得な情報を充実したラインナップでお届けします！
ご登録がお済みでない方はこの機会にご登録ください。

アドレス https://www.yuseifukushi.or.jp/jp_member/mailmag/

スマホは、
こちら



生活経済ジャーナリスト
森本 光由希



ふるさと納税